

---

## 第6章

### 地域の環境改善に向けて

---



## 第6章 地域の環境改善に向けて

本市は、地域ごとにそれぞれ特色のある8つの地区から構成されています。各地区では、地域の特性を生かし、環境に配慮したまちづくりが進められています。

ここでは、各地区の現状と課題を整理し、今後の取組の方向性についてまとめました。

### ■各地区の概要

地区名	地区の概要
飯能地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯能駅、東飯能駅を中心に市街地を形成している地域です。</li> <li>天覧山や飯能河原など観光資源となる自然を有し、多くの観光客が訪れています。</li> </ul>
精明地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>市東部に位置し、農地など田園風景が広がる地域です。</li> <li>市役所をはじめとする国、県、市の施設が集積しています。また、土地区画整理事業等による都市基盤整備が進められている地域です。</li> </ul>
加治地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>入間市と接する阿須山（加治丘陵）や入間川河川敷など、豊かな自然が残されています。</li> <li>土地区画整理事業等による都市基盤整備が進められている地域です。</li> </ul>
南高麗地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>市南西部に位置し、直竹川などの清流や植生豊かな森林を有する地域です。</li> <li>カタクリやイカリソウの群落、モリアオガエルの生息地など、豊かな自然が残されています。</li> </ul>
吾野地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの森林を有し、高麗川の源流となる地域です。</li> <li>宿場町としての伝統的な街並みを残すとともに、高山不動尊など歴史的な地域資源を有しています。</li> </ul>
東吾野地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林、清らかな河川など恵まれた自然環境を有する山村風景のある地域です。</li> <li>高麗川沿いにある、地域資源を生かしたふれあい農園や木工工房など、世代や地域を越えた交流が行われています。</li> </ul>
原市場地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹寺や子ノ権現など多くの地域資源を有する豊かな自然があふれる地域です。</li> <li>入間川や中藤川など清流の上流部に位置することから、清流保全地域として指定されています。</li> </ul>
名栗地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>市西部に位置し、入間川の源流となる地域であり、清流保全地域として指定されています。</li> <li>広大な森林とともに、原始的な森林生態系を有するウノ田など多くの自然の観光資源や歴史的な地域資源を有しています。</li> </ul>

## ■飯能地区

### 町名・大字名

山手町・本町・八幡町・新町・東町・柳町  
 仲町・稲荷町・南町・飯能・原町・久下  
 中山・久須美・小瀬戸・大河原・小岩井  
 永田・栄町・緑町・永田台



### 【地区の面積及び人口・世帯数】

面積	1493.9ha
人口	22,072人
世帯数	9,299世帯

※資料：統計はんのう

※人口、世帯数は、平成24年1月1日現在の住民基本台帳及び外国人登録



多峯主山からの展望



飯能駅前

## ■地区の現状と課題

- 飯能地区は、飯能駅、東飯能駅を中心とした市街地を形成している一方で、西部には丘陵地が広がり、天覧山や飯能河原などの自然が残されています。
- 商店街などによりにぎわう飯能駅周辺は、電線の地中化や道路のカラー舗装化、街路灯整備などが進められ、中心市街地を形成しています。
- 天覧山や飯能河原一帯は、山林地域と市街地が接する地域であり、自然とふれあえる場として活用することが求められています。
- 平成23年に行った飯能河原でのごみの有料回収では、一定の成果が得られましたが、周辺のごみ集積所への置き去りなどの問題への対策が求められています。
- 一部に不法投棄が見られ、対策が求められています。
- 市街地部については比較的緑が少なく、地域の緑化を進めることが求められています。
- 利用者の減少により、路線バスの維持・確保が課題となっています。
- ペットの飼い方などの問題があり、マナー向上の啓発が必要です。
- 地区内には企業向け事業用地があり、環境に配慮した企業の誘致が求められています。

## ■取り組むべきこと

- 地域に残された緑地や河川を保全・活用する。
  - ・景観緑地の指定や緑のトラスト\*保全地の公有地化の推進
  - ・開発における良好な自然環境の保全への配慮
  - ・河岸緑地を活用した散歩みちの整備
  - ・市民による里山再生の推進
- 今ある自然の実態を把握する。
  - ・自然観察会、自然ガイドなど、地域の自然を活用した取組
  - ・市民参加による動植物調査や自然学習などの実施
  - ・地域の環境に詳しい人材の活用
- 河原利用のマナーを向上させる。
  - ・市民・事業者・市の協働による観光地としての緑と清流の保全
- 不法投棄防止対策を進める。
- 市街地を緑化する。
  - ・宅地や事業所などの緑化
  - ・公園などの緑地の維持管理活動への市民参加の検討
- 公共交通を維持・確保するため、利用増進策を検討する。
- ペットの飼い方のマナーを向上させる。
- 企業誘致の方針に基づき、環境に配慮した企業の誘致を進める。
- 企業に対し、再生可能エネルギー\*設備の設置を働きかける。
- 環境のための取組を推進する。

## ■地区で行われている環境を良くするための取組

- 天覧山や飯能河原周辺の道標等の整備
- 飯能河原におけるごみの有料引取り制度の推進
- 飯能河原から吾妻峡までの水辺散策路の設置
- まちづくり推進委員会で設置した案内看板などの整備保守の実施
- 自治会等による清掃活動の実施

## ■ 精明地区

### 大字名

下加治・小久保・宮沢・平松  
川崎・下川崎・新光・芦荻場  
双柳・青木・中居



### 【地区の面積及び人口・世帯数】

面積	1,195.7ha
人口	16,756人
世帯数	6,767世帯

※資料：統計はんのう

※人口、世帯数は、平成24年1月1日現在の住民基本台帳及び外国人登録



平松のコスモス畑



宮沢湖

## ■地区の現状と課題

- 精明地区は、緑地や水辺、まとまった農地が広がる地域です。豊かな自然環境や田園風景が残される一方で、住宅地や公共施設、工業地、大型店舗などが混在した地域でもあります。また、土地区画整理事業等による都市基盤整備が進められています。
- 宮沢湖の周辺は、様々な動植物の生息・生育空間であるとともに、環境学習の体験の場や市民の憩いの場となっており、整備が進められています。
- 南小畔川は、地区を代表する川として、散策などに利用されており、水辺に親しめる川づくりが進められていますが、ごみのポイ捨てや雑草の繁茂などへの対策、遊歩道の整備等が課題となっています。
- 道沿いなどを中心に不法投棄が問題となっており、対策が求められています。
- 地区の東部に広がる田園については、市内でもまとまった農地があるのはこの地域だけとなっています。しかし、近年では耕作放棄地が増加しており、市民農園として活用するなどの対策が求められています。
- 周辺には平地林が残され、南小畔川や農業用水等とともに美しい田園風景を形成しており、今後も保全していくことが求められています。
- 住宅地に関しては、農地や工業地と隣接する地区について、住環境との調和が求められています。
- 利用者の減少により、路線バスの維持・確保が課題となっています。
- ペットの飼い方などの問題があり、マナー向上の啓発が必要です。

## ■取り組むべきこと

- 地域の自然を保全し活用する。
  - ・宮沢湖周辺における自然の保全、環境学習や憩いの場としての活用
  - ・南小畔川等における生物がすみやすい形の多自然型護岸整備
  - ・快適に歩ける道づくり
  - ・ごみのポイ捨て対策の推進
- 土地区画整理事業を推進する。
- 不法投棄防止対策を進める。
- 農地を保全し活用する。
  - ・地場農産物の直売や有機農業の促進
  - ・多様な農業の担い手の育成などによる農業の活性化
  - ・市民農園や景観作物の植栽などによる農地の活用
  - ・農地周辺に残された平地林などの保全方策の検討
  - ・耕作放棄地対策
- 農業や工業などの地域の産業と住環境を調和させる。
  - ・事業活動に対する規制、指導の実施
- 公共交通を維持・確保するため、利用増進策を検討する。
- ペットの飼い方のマナーを向上させる。
- 環境のための取組を推進する。

## ■地区で行われている環境を良くするための取組

- 南小畔川のクリーン活動の実施
- コスモスの栽培による花のある地域づくりの推進
- 南小畔川の川辺でのショウブやカキツバタ等の植栽の実施
- 東飯能駅東口駅前通り線への花壇の設置
- 南小畔川におけるホタルの生息できる川づくり
- 桜の森の利活用の推進
- 自治会等による清掃活動の実施

## ■ 加治地区

### 町名・大字名

岩沢・笠縫・川寺・阿須・落合  
前ヶ貫・矢嵐・征矢町・美杉台



### 【地区の面積及び人口・世帯数】

面積	837.1ha
人口	25,936人
世帯数	10,106世帯

※資料：統計はんのう

※人口、世帯数は、平成24年1月1日現在の住民基本台帳及び外国人登録



入間川の遊歩道



あけぼの子ども森公園

## ■地区の現状と課題

- 市東南部に位置する加治地区は、南に阿須山（加治丘陵）が広がり、入間川や成木川が流れるなど、多くの自然が残された地域です。丘陵部にある美杉台地区では、近年人口が増加しています。また、土地区画整理事業等による都市基盤整備が進められています。
- 入間川沿いには阿須、岩沢運動公園やあけぼの子ども森公園などが整備されており、自然の中でのレクリエーションが楽しめる地域となっています。
- 地区内には、湧水池も残されており、身近な水辺環境を有しています。
- カワセミなどの多くの生物がみられますが、河川の水量の減少やコンクリート護岸などにより、水辺の豊かさが失われてきています。
- 一部に不法投棄が見られ、対策が求められています。
- 河川敷でのヨシの繁茂により、川とのふれあいが減少しています。
- 河原などの利用者のマナーが問題となっており、ごみの放置や夜間の花火の音等への対策が求められています。
- 藤田堀の水辺環境の保全が求められています。
- ペットの飼い方などの問題があり、マナー向上の啓発が必要です。

## ■取り組むべきこと

- 丘陵の自然を保全し、自然とのふれあいの場として活用する。
  - ・自然に親しむ遊び場としての活用
  - ・自然観察会などの機会づくり
  - ・森のようちえん事業の推進
- 土地区画整理事業を推進する。
- 河川や湧水池などの水辺環境を保全し活用する。
  - ・水質保全対策の推進
  - ・生物がすすめる水辺環境の保全・創造の推進
  - ・レクリエーションの場としての活用
- 不法投棄防止対策を進める。
- 河川におけるヨシ対策の研究を行う。
- 河原利用のマナーを向上させる。
  - ・ごみのポイ捨て対策の推進
  - ・利用者へのPR
- 良好な住環境を保全する。
  - ・静穏な住環境の保全に対する市民の意識啓発
  - ・地域のコミュニケーションづくり
  - ・藤田堀の現状の改善
- ペットの飼い方のマナーを向上させる。
- 環境のための取組を推進する。

## ■地区で行われている環境を良くするための取組

- 入間川での水生生物及び野鳥の観察会の実施
- 地域の方々によるさくらの維持・管理
- あいわ広場の利活用
- 真善美の小径の整備
- 散策路の整備
- 自治会等による清掃活動の実施



## ■南高麗地区

### 大字名

岩淵・下畑・上畑・苅生・下直竹  
上直竹下分・上直竹上分



### 【地区の面積及び人口・世帯数】

面積	1,487.3ha
人口	2,402 人
世帯数	907 世帯

※資料：統計はんのう

※人口、世帯数は、平成 24 年 1 月 1 日現在の住民基本台帳及び外国人登録



モリアオガエル



滝の入タブの木  
(県指定天然記念物)

## ■地区の現状と課題

- 市の南部に東西に広がる南高麗地区は、成木川、直竹川、苅生川の清流に恵まれ、森林が広がる緑の多い地区で、植林によるスギ、ヒノキだけでなく、カシやカエデ、コナラなど多種多様な植生を持っています。
- 緑の多い地区ですが、林業の厳しい経営環境などにより、十分な手入れができないなど維持管理が不足している森林が増えつつあります。保水力の維持や土砂災害防止の観点から、森林の適切な維持管理や広葉樹への転換が求められています。
- 地区内には、カタクリ、イカリソウの自生地やモリアオガエルの生息地などがあり、こうした生物の生息地を保全していくことも求められています。
- 生活排水処理対策のために合併処理浄化槽\*の普及が進められていますが、単独処理浄化槽などの世帯もみられます。
- 林道沿いなど山間部を中心に不法投棄が問題となっており、対策が求められています。
- 幹線道路沿いの歩行者の安全性の問題があり、対策が求められています。
- 利用者の減少により、路線バスの維持・確保が課題となっています。
- ペットの飼い方などの問題があり、マナー向上の啓発が必要です。
- 大雨時の土砂崩れなど、自然災害への対応が求められています。
- サルやイノシシ、シカなどが、人里や農地まで侵入し作物などを荒らす被害が増えており、さらにクマの出没も確認されています。

## ■取り組むべきこと

- 森林を保全する。
  - ・林業の基盤整備や生産体制の強化などによる林業の振興、西川材のPR
  - ・森林や林業に対する理解を深めてもらうための森林体験教室等の実施・協力
  - ・森林の多面的機能\*を重視した森林保全
- 自然環境を保全し、地域の自然に親しむ。
  - ・カタクリやモリアオガエルなどの貴重な生物への配慮
  - ・生活排水処理対策として合併処理浄化槽の設置の促進と水質保全に対する意識啓発
  - ・地域の子どもたちが遊べる親水空間づくり
- 不法投棄防止対策を進める。
- 人と環境に配慮した交通網をつくる。
  - ・安心して歩ける道づくりの推進
- 公共交通を維持・確保するため、利用増進策を検討する。
- ペットの飼い方のマナーを向上させる。
- 自然災害への対応を推進する。
  - ・自主防災組織など自然災害に備えた体制の整備
  - ・土砂災害に対する防災訓練の実施
- 鳥獣害対策を推進する。
- 環境のための取組を推進する。

## ■地区で行われている環境を良くするための取組

- ホームページの作成など、南高麗の情報発信源としての活動の実施
- 地区住民の交流の場づくりの実施
- 南高麗全域を対象としたハイキングコースの整備
- 小中学生との農業体験学習の実施及び小中学校や福祉センターへの農作物の提供
- 自治会等による清掃活動の実施